



2026年4月24日

各位

会社名 株式会社エスポア
代表者名 代表取締役社長 鈴木 魁太
(コード番号：3260 名証ネクスト市場)
問い合わせ先 取締役経営管理本部長 山本 健司
(TEL：03-6712-7772)

営業外収益の計上及び当期連結実績と前期連結実績との差異に関するお知らせ

当社は、2026年2月期第4四半期会計期間において、営業外収益を計上するとともに、当社の2026年2月期（2025年3月1日～2026年2月28日）の連結業績につきまして、前期実績値（2025年2月期、2024年3月1日～2025年2月28日）との間に差異が生じたので、以下の通りお知らせいたします。

1. 営業外収益の計上について

当社は、第4四半期において顧客の蓄電池取得に必要なデューデリジェンス（調査）業務により業務受託料20,000千円を計上いたしました。

2. 当期連結実績（2026年2月期連結実績）と前期連結実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績値（A） （2025年2月期）	306	△211	△200	△247	△45.86
当期実績値（B） （2026年2月期）	556	10	15	11	2.13
増減額（B－A）	249	221	215	259	－
増減率（％）	81.6％	－	－	－	－

3. 当期連結実績と前期連結実績との差異が生じた理由

売上高につきましては、2025年4月17日の臨時株主総会による新経営体制への移行を経て、不動産コンサルティング事業において155百万円の売上を計上したこと、および開発・販売事業における系統用蓄電池用地及び宅地・建売の販売が進捗したことから、前期比81.6%の増収となりました。

利益面におきましては、売上増収効果および売上総利益の黒字転換により、営業利益10百万円（前期は営業損失211百万円）、経常利益15百万円（前期は経常損失200百万円）となりました。また販売費及び一般管理費は前期比172百万円と減少し、収益構造の改善が進みました。

以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は11百万円（前期は当期純損失247百万円）となり、2期ぶりの黒字転換を達成しました。1株当たり当期純利益は2.13円（前期は△45.86円）となっております。なお、当社は2025年10月24日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、前期の1株当たり当期純利益は当該株式分割が期首に行われたと仮定して算定しております。

以上